

スポーツ かわさき

No.60



目次

- 平成14年度第4回評議員会
第3回理事会開かれる …… ②
- 県体育功労賞受賞 …… ③
- 秋季市民体育大会成績
第3回市民ふれあいダンスの集い開催 …… ④
- 第4回市民ゴルフ大会
2,936人が完走！ …… ⑤
- 2002多摩川ハーフマラソンin川崎
県総合体育大会総合4位
市町村対抗駅伝競走大会
“食事はトレーニングの一部である” …… ⑥
- 助かってます！ 指導者派遣事業 …… ⑦
- スポーツ障害の予防と応急手当法シリーズ⑤
- 平成14年度賛助会員 …… ⑧

財団法人 川崎市体育協会

平成14年度第4回評議員会・第3回理事会開かれる

平成14年度（財）川崎市体育協会第4回評議員会・第3回理事会が去る2月19日に開催され、予定された審議事項を慎重に審議し、石川記念武道館施設管理運営の受託及び当協会の寄付行為の変更、石川記念武道館施設管理運営の事業内容、平成15年度事業計画(案)、厳しい財政状況の中での平成15年度収支予算(案)等が承認、決定されました。

理事のオブザーバー出席のもとに開かれた第4回評議員会では、大谷金一会長・市教育委員会石川スポーツ課長の挨拶の後、ただちに議案の審議に入りました。



第1号議案「石川記念武道館施設管理運営の受託及びこれに伴う寄付行為の変更について」は、川崎市教育委員会では、スポーツ施設の管理運営の見直しを行っており、石川記念武道館の施設管理を現在（財）生涯学習振興事業団に委託しているが、平成15年4月1日から当協会事業として市から委託を受け、スポーツ施設等の管理運営を明記すること等のため、寄付行為を変更するものです。

石川記念武道館の委託を受けて将来的に体協事業としてプラスになるのか、体制は十分なのか、市民サービスの低下にならないかなど質疑があり慎重審議の結果全会一致で承認されました。

第2号議案「石川記念武道館施設管理運営の事業内容について」は、第1号議案と関連するもので、同館と当協会との関連を明記するための事業内容を改正するもので、全会一致で承認されました。

第3号議案「平成15年度事業計画(案)について」は、第1号議案に関連し、主要事業として「スポーツ施設管理運営」を新規に掲げたこと、同武道館事業を特別会計事業として一般会計事業と区分して実施すること、スポーツ教室等の開催でスキー教室がスキー協会の独自事業となったこと等が前年度との変更内容として協議され、全会一致

で承認されました。

第4号議案「平成15年度収支予算(案)について」は、まず一般会計の収入では、スポーツ教室受講者の減、市補助金収入の8%減といった厳しい財政状況の中で、加盟団体助成金・市補助金減額分確保のため、スポーツ振興基金230万円余りを取り崩し財源としたこと、支出では各事業費を確保し、管理事務経費を極力抑えたうえで、スポーツ振興預金支出、事務局職員の退職給与引当預金支出を苦しい中から捻出したことが説明され、基金を取り崩して今後どのように対応していくのか等の質疑がありました。

特別会計では、石川記念武道館管理運営受託に伴う収支予算で、市からの受託事業収入と支出が説明され、審議の結果、全会一致で承認されました。

おめでとうございます！

県体育功労賞受賞

県教育委員会による神奈川のスポーツ発展振興に尽力のあった個人を讃える「県体育功労者表彰式」が平成15年1月18日県庁大会議室で行われました。当協会では次の二氏が受賞の栄に輝きました。二氏のご功績に対しまして心から敬意を表しますとともに、お祝いを申し上げます。

齊藤義晴氏

推薦団体 川崎市教育委員会
現 在 財団法人川崎市体育協会副会長
川崎市ボウリング協会副会長

笠井勝儀氏

推薦団体 神奈川県相撲連盟
現 在 神奈川県相撲連盟副理事長

秋季市民大会成績

各競技種目の市民大会が、それぞれ盛況のうちに終了しています。主な成績は次のとおりです。

☆相撲

秋季市民大会 7月7日 富士見公園相撲場

○個人戦 (小学4年生以下)

優勝：高橋 弘之 2位：沢田 昌太
3位：石原 稔 4位：石原 彰

○個人戦 (小学5年生)

優勝：二家本 旭 2位：川村 知己
3位：石谷戸祥子 4位：沢田 利風

○個人戦 (小学6年生)

優勝：林 由佳子 2位：赤津 夏生
3位：白川 綾香

○個人戦 (中学1年生-16名によるトーナメント)

優勝：原 智志 2位：仁藤 直人
3位：熊本 大輔 3位：石井 翔太

○個人戦 (中学2年生-23名によるトーナメント)

優勝：川村 信夫 2位：大坂 良
3位：窪田 啓介 3位：大江 進二

○個人戦 (中学3年生-25名によるトーナメント)

優勝：望月 翔 2位：後藤 芳貴
3位：佐藤 清隆 3位：佐藤 隼人

○個人戦 (高校生戦-予選リーグ + トーナメント)

優勝：橋本 啓一 2位：三浦 優一
3位：溜 恵太 3位：田井中

○中学団体戦 (14チームによるトーナメント戦)

優勝：桜本 A 2位：桜本 B
3位：川崎 A 3位：川中島 A

☆軟式野球

秋季市民大会 9月2~4日 大師球場

優勝戦 川崎市水道局 5-2 川崎市役所

三位戦 東芝電波特機 2-0 NKK TUBES

最優秀選手 柿沢 宣孝 (川崎市水道局)

敢闘賞 奥田 進 (川崎市役所)

首位打者賞 吉田 丘 (川崎市水道局)

☆バスケットボール

秋季市民大会 11月2日~12月8日

とどろきアリーナ、高津スポーツセンター、市体育館

○一般男子 (参加56チーム)

準決勝：中野島 80-72 南高クラブ
グランドスラム 91-61 JBA

優勝戦：中野島 87-72 グランドスラム

○一般女子 (参加21チーム)

準決勝：チース 66-38 新城 sweep
フェアリーズ 58-44 東芝柳町

優勝戦：チース 72-44 フェアリーズ

☆クレ射撃

市民大会 11月23日 神奈川大井射撃場

競技=トラップ25ヶ×4R または スキート25ヶ×4R

1位：市川 征二 91 2位：多田 信吾 90

3位：関根 栄司 89 4位：羽鳥 久雄 84

5位：加藤 実 84

☆バレーボール

秋季市民大会6人制・一般。10月6日

市体育館、高津スポーツセンター、市川崎高体育館

○男子1部 優勝：Diabro 2位：羽月クラブA
3位：凡暗頭、鳳会

○男子2部 優勝：清球会 2位：じゃらく
3位：南クラブ、白鷺クラブ

○女子 優勝：N'S 2位：東芝本社
3位：PRIDE、あじまる

☆柔道

秋季市民大会 10月13日 川崎市体育館

○個人戦 (優秀賞-3人抜き)

小2：古川大地 荒井拓麻 朝野光樹 横尾

昌孝 岡本 淳 糸山由莉 野口美紗 小3：

神田鮎人 小4：村田健児 内野敬太 伊丹

直喜 高橋弘之 小5：池田優太 高橋真人

二家本旭 田中諒真 石村洋介 石戸谷祥子

小6：伊丹寛二 金澤 弥 鏡 哲也 高木

海帆 栗原美和 中1：高杉ゆかり 菅原良輔

横倉颯翼 溜 直人 白井淳也 小泉龍太郎

工藤圭介 上形英智 水谷洋輔 中2：三戸

彩渚 佐藤裕也 穴戸俊太郎 石村俊介 森

直樹 中3：青木翔平 金野純也 木島亜里紗

山口 優 内村 彩 無段：向江真吾 竹下

光 初段：野田慶穂 石川康司

○団体戦 (優勝・準優勝チーム)

小学生 優勝：車道場(A)

準優勝：柿生青少年柔道会(A)

中学生 優勝：日吉中学校(A)

準優勝：南加瀬中学校(A)

無段の部 優勝：向の岡工業高校

準優勝：県立川崎高校

有段の部 優勝：東芝物流

準優勝：幸柔道クラブ(A)

☆陸上競技

秋季市民大会 10月26、27日 等々力陸上競技場

○中学男子 1位 2位 3位

100m 小山 望 玉村 直之 金内 勇介

400m 井岡 大輝 勝田 康補 小林 賢五

1500m 福山 高志 中ノ目哲史 林 哲哉

3000m 山本 瑞穂 古川 亮輔 鈴木 直人

110mH 村田 龍 越智 武史 豊田 崇久

4×200mR 宮内中 桐光学園中 西生田中

走高跳 武石 健吾 小島 達矢 辻 貴博

走幅跳 日比野 伶 平岩 康祐 大島 浩

砲丸投 秋山 易範 徳田 将太 小沢 清隆

○高校男子

砲丸投 佐藤 裕介 児矢野 誠 梶山 和真

円盤投 飯島 悠貴 鈴木 優大 児矢野 誠

ハンマー投 戸井田 晋 広瀬 達也

○男子

100m 後藤 裕哉 奈良 信之 山本 理裕

400m	星 享太	西山 貴之	中岡 雅史
1500m	松木 正雄	平野 雄一	中村 洋介
5000m	福沢 研一	富永 宏紀	平野 雄一
110mH	安部 大	丸山 浩史	佐藤 裕介
4×100mR	アンビバレンス	桐光学園高A	法政二高A
走高跳	望月 良輔	関 茂元	浦山 俊介
棒高跳	根本 敬士	佐川 雅宏	
走幅跳	金城 歩	若林 健一	柳川 理介
三段跳	梶川 洋平	柳川 理介	大塚 祐治
砲丸投	柳沢 宏	大田 知希	広田 義記
円盤投	大石 昌宏	照内 規郎	
やり投	辻永 和容	坂本 大将	斎藤 潤

○中学女子

100m	法月 真未	横山 明菜	中島 聖恵
1500m	青山こかげ	千葉あり沙	萩原 実咲
3000m	坂本志央里	木田 翔子	荒居 さら
100mH	宋 華 麗	高嶋 優	深瀬 未希
4×100mR	宮崎中	洗足学園中	桐光学園中
走高跳	斉藤 利菜	渡辺 恵	矢ヶ部恵弥
走幅跳	増岡 礼奈	塩田 絵美	小林 千枝
砲丸投	堤 寛子	姫井佐希子	井岡 萌美

○女子

100m	春田 紀子	高橋 政代	尾下沙也香
400m	張 冬子	宮林理恵子	大橋 歩美
3000m	大向 麻美	長谷川麻弥	関口 裕妃
100mH	内藤 貴真	矢川 絵里	小沼 友美
4×100mR	市橋高	アンビバレンス	洗足学園高
走高跳	安藤 紗世	川上由以子	河口 恵美
走幅跳	春田 紀子	内藤 貴真	塚本 紗代
砲丸投	太田 奈緒	福島わかな	神 香保里
円盤投	太田 奈緒	福島わかな	神 香保里
やり投	坂本 慶子	高松 円	稲田 詠美

◎大会新：走幅跳 春田 紀子 WAVE-TC 5.60m

☆剣道

秋季市民大会 11月17日 とどろきアリーナ

○男子個人 優勝・準優勝者

3級の部	水澤 智弥	首藤 友樹
2級の部	柳 勇太	横 涼
1級の部	紙田 大輔	棚田 靖之
初段の部	平山 航大	鶏冠井孝介
2段の部	中村 浩志	沢田 政孝
3～5段の部	井上 庸祐	宮田 達也

○女子個人 優勝・準優勝者

3級の部	阿部 美洸	佐藤 遥
2級の部	三改木麻衣	藤原 倫子
1級の部	江口 智美	上地 ルミ
初段の部	角澤 希美	白石 智美
2～5段の部	會田 智子	泉 さやか

○団体戦

四者対抗	優勝：教職員	第2位：実業団
	第3位：消防局、市役所	
七区対抗	優勝：多摩区	第2位：宮前区
	第3位：幸区、中原区	

いい汗バンバン!弾むステップ!
第3回市民ふれあいダンスの集い開催

平成14年10月5日(土)、(財)川崎市中小企業婦人会館大ホールで319名の市民の方々が参加して華やかに開催されました。

当日は、初心者ダンス教室に始まり、CDによるフリーダンス、テクノバンドによるフリーダンス、女性一人で参加された方々のためのリボンの騎士タイム等を設定し、会場は一気に盛り上がりました。市民ダンス愛好家による演技発表もあり充実した集いでした。最後に「お楽しみ抽選会」では、「当たった!」の声に会場から歓声が沸くひとこまもありました。参加された方々の別れの声は、「いい汗かいて楽しかった」、また「来年もみんなで参加しましょう」等の声があり満足して帰られた様子でした。



悪戦苦闘の業師!184名参加で楽しく競う
第4回市民ゴルフ大会

11月7日(木)、川崎国際生田緑地ゴルフ場で第4回市民ゴルフ大会が開催されました。

当日は気温が低く、184名の業師の方々は冬の装いで日ごろ鍛えた技に磨きをかけて、イン23組・アウト23組が個人の名譽をかけてスタートしました。18ホールストロークプレー、新ペリア方式による大会は、海老沼貞夫さんがアウト・インともに39、グロス78、ネット69.6で見事男子の部で優勝されました。

女子の部では、若林喜恵子さんがアウト・インともに42、グロス84、ネット74.4で優勝されました。おめでとうございます。

第5回大会は、10月23日(木)川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催する予定です。

2002多摩川ハーフマラソンin川崎 2,936人が完走!

昨年度まで16年間、等々力陸上競技場を発着とするコースで行われてきた川崎市民マラソンが、上丸子陸開箇所の改良工事に伴い、新たに古市場陸上競技場を発着とする『多摩川ハーフマラソンin川崎』としてリニューアルし、11月17日(日)に行われました。

今年から募集枠を大幅に拡大し、川崎市外からの参加者も募ったところ、宮城から長崎まで18都府県から3,525人のエントリーがあり、3,075人が参加、うち2,936人の方が完走を果たしました。

また、今年から「親子ペアの部」が設けられました。これは、小学生の子供と親がペアになり、1kmを一緒に走り、手をつないでゴールをするというルールで行われたものです。37組74名の親子が仲よく完走しました。

昨年までのように一般道を走らず、交通規制の必要がないため、スタートからの制限時間が大幅に伸びました。そのため、途中棄権者が少なくなり、完走率がアップしました。また、河川敷というフラットなコースで走りやすいためか、70歳以上のお年寄りが20名以上参加し、健脚を披露してくださいました。さらに、小学校体育研究会の先生方による長縄体験コーナー等も用意され、応援にきた家族連れの参加者に好評でした。チャリーディング、和太鼓等のイベント参加の協力もあり、“フェスタ”の名にふさわしい大会となりました。

各種目の優勝者は次の通りです。

ハーフ男子35歳以下	広沢貴生	1時間15分17秒
36～49歳	近藤 隆	1時間15分00秒
50歳以上	角田 進	1時間17分04秒
ハーフ女子	富澤博美	1時間26分53秒
10kmの部35歳以下	男子 猪狩 真樹	33分43秒
	女子 大谷 歩美	42分16秒
36～49歳	男子 大谷 秀樹	33分49分
	女子 竹之内明子	40分50秒
50歳以上	男子 小金 啓志	36分40秒
	女子 高橋母美子	45分08秒
高校生	男子 福沢 研一	33分08秒
	女子 長谷川麻弥	41分46秒
親子ペアの部	星野政信・光汰	3分43秒

県総合体育大会総合4位

昨年3月の冬季大会でのスキーを皮切りに、夏季大会4種目と秋季大会11種目の計16種目で半年間にわたって熱戦が繰り広げられた第53回神奈川県総合体育大会が閉幕しました。

川崎市は、軟式野球、スキー、ソフトテニス、水泳、男女ボウリング、陸上、女子バレーボール等で上位入賞を果たしたものの、総合では昨年よりも順位を一つ下げ、4位に終わりました。

今後の強化・普及に一層取り組み、次回大会での益々の躍進を期待して止みません。

市町村対抗の順位と総合得点は次の通りです。

優勝	相模原市	592.5	4位	川崎市	515.0
2位	横浜市	591.5	5位	平塚市	508.0
3位	大和市	536.5	6位	厚木市	488.5

第57回市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」

惜しくも4位!



伝統のかながわ駅伝競走大会が2月9日(日)、県下35チームの参加により、今年からコースが秦野市中央運動公園～相模湖の51.5km7区間に短縮され行われました。

川崎市は、1区で山本(宮前平中)がトップと7秒差の4位で快走、3区戸澤(國學院大)が落ち着いた走りで順位を2位に上げました。しかし、その後、順位を二つ下げ7区へ。最後にたすきを受け取った樋口(桐蔭学園高)は、区間2位の快走で追いつけたものの、あと一步及ばず4位のままフィニッシュ。昨年より順位を一つ下げた結果となりました。

優勝	横浜市	3位	秦野市
2位	相模原市	4位	川崎市

“食事はトレーニングの一部である”

平成14年度かわさきスポーツ指導者研修会「スポーツと栄養について」開催

去る平成14年12月7日(土)午前10時30分から午後4時の間、高津市民館料理室および会議室において、生涯スポーツ指導者派遣事業の指導者を対象として、スポーツ栄養学に関する基礎知識についての理解を深め、調理にかかわる技術の取得を図ることを目的に、『スポーツと栄養について』——実際に作って食べてみよう！——のタイトルで研修会を開催しました。参加者から大変好評を得ましたので、当日の講師で栄養士の神谷洋美先生にその時講義をしていただいた要旨をまとめていただきました。なお、この研修会を開催するに当たり、(株)大塚製薬に特別協賛をしていただきました。

スポーツを行う人にとって、「食事はトレーニングの一部である」と言われますが、スポーツ栄養学は、何を、何のために、どのように食べるかを具体的に学ぶ、実践的な側面の強い学問です。トレーニング量と献立内容のバランスや、試合日と食事の兼ね合いを考え、それによって得られる、精神的・肉体的効果を実感することで、体づくりやパフォーマンスの向上のためには「たべること」もトレーニングの一環であると、自然に認識し、食事を含めた健康管理が行えるようにしていくことが目標となります。

食事で摂取するものの中には様々な成分が含まれていますが、体内で利用されるものは大きく分けて五つの分類があります。三大栄養素と呼ばれる糖質・脂質・たんぱく質と、ミネラル、ビタミンの五つです。糖質(炭水化物)はスタミナ・持久力に関わり、脳にとっては唯一のエネルギー源です。ご飯・パスタなど血糖値をゆっくり上げるタイプの糖質が、スポーツ時のエネルギー源として長く有効に使えます。砂糖やブドウ糖など甘いものは、エネルギー源として即効性がありますが、摂取のし過ぎは肥満の原因となるので、注意が必要です。脂質はもう一つのエネルギー源となり、少量で大きな働きをしますが、摂取過多はやはり肥満につながるので、必要量の中で、動物性と植物性をバランスよくとることが理想です。たんぱく質は、筋肉の素材であると同時に、細胞の構造や生理機能を保持し、ホルモン等、免疫を司る物質として大切な役割をします。ビタミンは体の調子を整え、代謝を行うために必要な栄養素です。スポーツ時にはエネルギー消費が活発になるので、代謝活動も活発になり、各種ビタミンの需要が増え

ます。不足すると、疲れやすく、運動能力も落ちてしまうので注意が必要です。ミネラルは、体を構成する成分で、歯や骨をつくる材料にもなります。スポーツでは特に、貧血と関係の深い鉄や、骨格作りに関わるカルシウムへの関心が強くみられます。このようないくつもの栄養素が、協力しあってエネルギー源となり、体づくりを担っています。スポーツをする体を維持するには、スタミナの元になるご飯、体・心の調子を整えるビタミンやミネラルに富んだ野菜や果物、そして強い骨格を作るためのカルシウムを多く含む牛乳・小魚・海草をバランスよく食べることで、また大切な筋肉をつくるため、肉や魚などたんぱく質の豊富な献立を心掛ける必要があります。そうして摂取した栄養素は、成長ホルモンが活発に分泌される睡眠中に、骨や筋肉に、効率よく利用されて行きます。このようにつくられた筋肉は、トレーニングを行い、鍛えることによって、より強い力を発揮する筋肉となっていきます。この一連の栄養・睡眠・トレーニングのリズムが基礎体力を支えています。「スポーツと栄養」を無理なく日常生活に取り入れるには、甘・辛・酸・苦・塩の五つの味と、赤・黄・緑・白・黒の五つの色を意識したカラフルでヴァリエーションに富んだ献立を考えたり、積極的なカルシウム摂取のために、炒りゴマ・煮干・鰹節をミキサーでふりかけにして食卓に置いたり、てんぷらをする際には肉質が柔らかく油を吸いやすい素材よりも、油を吸いにくい硬めの素材を選ぶなど、細かな工夫で、それぞれのライフスタイルや目的に合わせていくのが近道でしょう。

助かっています！

当体育協会が平成11年度から実施している「生涯スポーツ指導者派遣事業」が、実施以来4年が経過しました。広報委員会では、この運用が実際に市民の皆さんにどのように受け入れられているかを実際の場面で確認してみようと市立川崎小学校PTAバレーボール・チームの練習を見学し、チームの代表者や指導者から生の声をいただきました。



2月1日、土曜日の午後7時過ぎ川崎小学校の体育館には、すでに指導者を含めて15名の方々が集まり、レシーブの練習にはいっていました。皆さんが熱心に練習を続ける中、代表の飯沼真喜子さんに練習から抜けていただいて、いろいろと質問を投げかけてみました。

「練習は、週水・土の2回、体育協会の指導者派遣はそのうちのどちらか1回、5月からお願いし、今日で7回目になる。川崎区のPTAの大会に参加しているが、素人ばかりなので2回戦までがせいぜい。仲間と一緒に体を動かし、良い汗を流せるのは大変幸せ。これで少しゲームに勝てればもっと楽しい。そんなことで練習していますが、素人ばかりですのでよい指導者がいてくれたらと思っていただところ体協さんの指導者派遣制度があることを知り、お願いした。大変助かっているし、一段と楽しく練習ができて、感謝している。」また、指導者の杉山俊成さん（川崎市体育協会生涯スポーツ指導者、川崎市バレーボール協会所属・日本バレーボール協会B級公認審判）は「初心者が多いので、基礎的な面に重点を置き、明るく楽しくプレーできるよう心がけている。わたしも楽しんでいる。」と語っておられました。

救急蘇生法の改正点について

<寄稿> 川崎体育救護クラブ 左澤 重明

スポーツ中或いはその直後に起こる障害のなかで、最も重大かつ緊急性の高いものが心停止であり、呼吸停止であります。

日本救急医療財団心肺蘇生法委員会では、2001年「救急蘇生法の指針・改訂版」を作成し、適正かつ確実な救急蘇生法の教育と普及を望んでいます。そこで、改定された内容の概略をここで述べます。詳しくは、機を見て講習会に参加され、再習得されることを望みます。

人口呼吸における吹き込み量

吹き込み量は従来800ml~1200mlであったものが、体重1kg当たり10ml(500ml~800ml)（つまり体重60kgであれば600ml）と改定。

吹き込みに要する時間とペース

1回の吹き込みに要する時間は従来1.5~2秒であったものが一律2秒となりました。ペースは従来通り最初は2回連続、心拍動があればその後は5秒に1回の割合です。

心マッサージの圧迫の強さと速さ

従来、胸が3cm~5cm凹む程度とあったものを3.5cm~5cmと改定。速さは1分間に80~100回とあったものが1分間に100回と統一。

2回吹き込み後の脈の確認はしなくてもよい

最初の2回連続吹き込みの後の脈の確認はしなくてもよいと改定されました。これは一般市民にとって、緊急の場で頸動脈の拍動を確認することは難しいと判断されたためです。そこで循環のサインの確認は人口呼吸を2回行った後、胸の動きや呼吸音の有無など、何らかの身体的な動きがあったかどうかを10秒以内で観察し、何の動きも見られない場合には「心停止」と判断し、心臓マッサージを行います。心マッサージと人口呼吸の組合せについては従来通り15:2で行います。

★平成14年度賛助会員★ (平成15年2月末日現在)

ご協力ありがとうございます。来年度も継続をお願いします！

<団体会員> 敬称略・順不同 1口 10,000円 団体数40 総口数57口

柿生青少年柔道会 カトウメモリアルスポーツクラブ (株)織戸組 (株)内藤アカデミー (株)大谷商事 (株)興和化工機 川崎弓道会 川崎市ゲートボール連合 川崎市ダンススポーツ連盟 川崎市運動具商組合 川崎市弓道連盟 川崎市柔道整復師会 川崎市少林寺拳法協会 川崎市ソフトテニス協会 川崎市ソフトボール協会 川崎市体操協会 川崎市なぎなた連盟 川崎市ボウリング協会 川崎市ミニバスケット連盟後援会 川崎商工会議所 川崎市陸上競技協会 川崎市レクレーション卓球連盟 川崎信用金庫 川崎体育救護クラブ 川崎レディーステニスクラブ (株)京浜化工 斉藤柔道館 (株)三進工業 (株)昭和薬品工業 高津区ゲートボール協会 多摩川スイミングスクール (株)東京電力川崎支社 中幸町1丁目町内会 中原区ゲートボール協会 (株)富士コカ・コーラボトリング (株)富士通スポーツマネージメント (有)味の鶴岡 (有)ポールメイツ (株)ユーコービジネスマシン (株)徳利 川崎市ハンドボール協会

<個人会員>敬称略 1口 2,000円 会員数378人 447口

青木正弘 青山和男 赤木健三 赤坂郁夫 赤地靖男 秋山幸宥 朝野清 朝野繁 渥美郁雄 安部秀志 新井金太郎 荒井恵子 荒井伸一 荒金秀直 荒木秀治 安藤良之 飯島勝三郎 飯塚正雄 飯塚明巳 池上利浩 石井重信 石井望 石井秀明 石川克巳 石塚全 石塚徹 石原和夫 泉川勝也 磯谷文子 井出政文 井出実 伊藤昭子 伊藤梅吉 伊藤和也 井野昭司 井上重光 今田正兵 今村政雄 岩崎英二 岩藤常代 岩松実 岩本勝義 植竹龍治 上野慎吾 鷗沢英穂 江成力 榎本賀一 江橋敏晴 江部進 遠藤一男 遠藤浩信 及川悦博 及川徳男 大内孝二 大川原久 大河原正生 大熊誠二 大沢佑吉 大沢英雄 大高常勝 大谷金一 大西義和 大場辰三 大和田孝夫 小笠原まつえ 小笠原邦夫 小笠原良雄 岡田勝久 岡田裕 岡田良之助 小川規恵 小川孝志 小川道男 小川實 小倉敏正 長村信幸 小澤啓夫 小鹿治光 尾嶋和幸 小田陽 小原英機 垣口博幸 影山三男 梶川光夫 柏木洋 粕川精一 粕谷行雄 加瀬丈夫 片忠夫 片岡春夫 片田実 加藤渉 加藤時太郎 金井宏介 金子伸二 金子満雄 金子義一 軽部千秋 川井美貴子 川上修 川島栄治 川島哲男 河田和枝 河田進 河田英彦 川淵幸信 川村アキ子 川村一広 川村重孝 菅野時治 菅野泰男 菊地郁夫 菊地政宣 岸本浩一 北林貢 木戸修 木下昭彦 木村邦雄 木村三郎 木本良麿 久木田光治 串間平三郎 串間満子 國谷俊夫 久保秋博 熊坂敏秀 倉形政宏 倉持聡 車耕作 黒沢勝吉 小泉節子 甲広幸 小柴通利 小嶋創 後藤尊蔵 古徳栄江 小林悦子 小林和夫 小林完一 小宮健 近藤忠 紺野清春 斉田英二 斉藤悦雄 斉藤真一 斉藤登志雄 斉藤征男 斉藤学 齊藤義晴 斉丸仁一 作間牧夫 櫻井定吉 笹井静恵 佐々木利絵 左澤重明 佐藤公彦 佐藤茂 佐藤昌一 佐藤昭治 佐藤満蔵 佐藤与志乃 澤村俊之 椎橋孝 滋野徳義 穴戸栄 品田義尚 篠木庄吾 柴克美 芝寄寿謹 清水孝 清水忠 清水智美 清水ひろみ 清水功 清水則男 清水正彦 志村清治 正田隆二 菅沼秀寿 菅原義秋 杉田修二 杉本静夫 鈴木伊一郎 鈴木茂樹 鈴木伸一 鈴木澄夫 鈴木孝雄 鈴木哲夫 鈴木正儀 鈴木三男 須山泰宏 石戸谷典幸 関野紀好 瀬谷裕子 芹沢秀史 平道郎 高浦義雄 高倉僖八 高杉忠弘 高田彬成 高田晴彦 高野俊昭 高橋昭雄 高橋克昭 高橋傳 高橋和夫 高橋頭一 高橋健治 高橋貞夫 高橋政利 高平晴弘 高見一利 滝沢稔 田口勝 内匠逸美 竹内彦三郎 竹下修 武田正純 竹山文朗 田代明 田中茂 田中哲也 田中房子 田中正樹 田中美津江 谷川龍二 谷口智和 谷口善洋 田沼正男 田原兼義 田村直樹 田村博明 千葉一男 千葉敏 千原満彦 帖佐康生 土屋広夫 津国美穂子 寺園力男 寺田澄江 寺西英夫 照井明美 東條光一 徳竹茂男 徳元三郎 土橋五十六 富岡喜美子 富澤一夫 富田悌司 豊田康寛 永井日出男 中江久人 中岡康 長久保晴生 中嶋上 永野節子 中畑一男 中畑太 中村勝 中村鋭一 中村佐太郎 中村みち子 中村安伸 中村裕志 仲本隆信 中森勝彦 中山明美 中山清司 中山光直 中山芳正 梨本貞雄 橘崎尚 鳴海信成 難波一尚 新村高德 西美恵子 西尾文雄 西野隆 西村元一 西森功 西谷賢 縫田正俊 沼田尚夫 禰朝朝明 野口晏正 野口始男 野口うき子 野崎房江 波江野充 萩原進一 蓮尾要 長谷川武雄 浜口壮一郎 浜野光三 原正巳 原島兼房 半沢文夫 引田満男 久沢郁子 日野原守 日野原義久 平井光男 平木貴史 平沢幸一 布川順子 布川広 藤田まゆみ 藤原靖 古川幸一 古川義明 古谷保 辺見仁 保坂恵 星勝義 細岡伸三 堀りつ 本多修一郎 本多毅 本田辰徳 本田ひろ子 前原吉男 幕内好雄 榎一成 町田覚 松田忠雄 松本新吾 松本昇 松本昌浩 松山玲子 丸山米光 三沢和子 水野豊 溝口礼次 緑川勝彦 皆川敏明 宮城豊保 宮林勝彦 村石勇 村田享 室住倫子 室住安則 森明夫 森勝利 森川光男 八尾勉 矢島俊雄 矢野昌平 矢吹豊 八巻哲男 山崎定 山田精二 山田清治 山田洋 山田美恵子 山田美也子 山田元彦 山本朗 山本健二 山本聡 山本信義 山本昌代 結城容子 湯川純一 横尾はる子 横山悦子 吉岡幹雄 吉田清広 吉田貞夫 吉田英也 吉浜一昭 米倉章博 和田信親 和田伸幸 和田平作 渡辺晃 渡部伸一 渡辺信博 野球協会多摩支部 中山剛 小宮富美子 江口稔 国谷隆正 武田修二


速報 県総合体育大会スキー競技会で優勝!

2月28日から3月2日にわたり新潟県津南スキー場で行われた第54回神奈川県総合体冬季大会スキー競技会で、川崎市が相模原市(2位)、横浜市(3位)を抑えて、34年ぶりに総合優勝しました。

Frontale 川崎フロンターレ2003会員募集

年会費 個人 2,000円 ファミリー4,000円
 団体・法人10,000円 ジュニア200円

※ 詳しくは体育協会事務局まで



スポーツかわさき 60号

発行 平成 15年3月14日

(財)川崎市体育協会

〒212-0007 川崎市幸区河原町1

TEL 044-556-5511 FAX 044-556-5559

ホームページアドレス <http://www.netlaputa.ne.jp/taikyoo/>

編集 (財)川崎市体育協会 広報委員会

印刷 (株)第一サンエー(TEL044-222-2356)

〒210-0002 川崎市川崎区榎町3-9